

古河基署発 0311 第1号  
令和4年3月11日

一般社団法人古河労働基準協会長 殿



古河労働基準監督署

### 死亡災害の減少に向けた取組のより一層の強化について（要請）

平素より、労働災害防止をはじめとする労働基準行政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、茨城労働局では、第13次労働災害防止推進計画（以下「13次防」という）を策定し、第12次労働災害防止推進計画期間中と比較し死亡災害を15%以上減少させること等を目標に掲げ、各種対策を推進しているところです。

しかしながら、13次防の最終年である本年1月1日以降、既に6件の死亡災害が発生しております、大変憂慮すべき事態となっています。

死亡災害の内容は別添1のとおりであり、事故の型別では、「はさまれ・巻き込まれ」「墜落・転落」によるものが各2件、「切れ・こすれ」「転倒」によるものが各1件となっています。

また、6件中5件が機械による災害となっており、うち3件が機械の修理・点検等の作業時において発生しています。

つきましては、死亡災害が多発している状況に歯止めをかけ、同種災害の発生を防止するため、貴団体におかれましても、傘下会員事業場等に対する周知・指導等、労働災害防止に向けた取組をより一層強化していただきますよう要請いたします。

#### 【添付資料】

- 1 令和4年 死亡災害事例
- 2 リーフレット「死亡災害が多発しています！」
- 3 リーフレット「機械による労働災害を防止しましょう」
- 4 リーフレット「エンジンカッターによる労働災害を防止しましょう」